

# ほうれんそう調製センターの機能強化(労働力確保・活用)による収益向上 <岩手県八幡平市>

## 【事業の実施方針】

1. ほうれんそう調製センターの利用促進と機能強化を図り、個々の収穫調整作業を軽減し、余剰労力を活用し規模拡大や作付け回転数の増加により収益向上を目指す。
2. ほうれんそう調製センターの機能強化、安定的な調製作業体系の構築のため労働力の確保・育成を図る。
3. 雇用の募集や現地説明会等を行い、不足する労働力の確保を図る



八幡平地域のほうれんそう生産の推移

	H23	H24	H25	H26	H27
出荷数量 (t)	896	821	763	748	740
全生産者数 (戸)	314	289	274	254	250
うち販売500万円以上 (戸)	14	13	13	15	13
面積 (ha)	49	45	46	45	38
平均反収 (t/10a)	1.8	1.8	1.7	1.7	1.9

## 【事業の主な内容】

1年目 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○八幡平農業労働力確保戦略協議会</li> <li>・事務局会議開催(年3回)</li> <li>○労働力の確保・育成</li> <li>・調製作業パート20人の確保</li> <li>・確保したパートの農家派遣研修</li> <li>・作業工程改善(トヨタ式改善)</li> <li>○労働力等のデータベース化及びマッチング</li> <li>・事務作業員(2名)の確保</li> <li>・調製センター年間受け入れ計画作成</li> <li>・農家パートの募集・仲介</li> <li>○労働負荷軽減のための環境整備</li> <li>・選別調製ライン1台増設(ライン2台→3台へ)</li> </ul>
2年目 (平成29年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○八幡平農業労働力確保戦略協議会</li> <li>・事務局会議開催(年3回)</li> <li>○労働力の確保・育成</li> <li>・調製作業パート・農家雇用30人の確保</li> <li>・確保したパートの農家派遣研修</li> <li>○労働力等のデータベース化及びマッチング</li> <li>・調製センター年間受け入れ計画作成</li> <li>・農家パートの募集・仲介</li> <li>・情報収集・成果発表等のための会議出席</li> <li>○労働負荷軽減のための環境整備</li> <li>・選別調製ライン2台増設(ライン3台→5台へ)</li> </ul>
3年目 (平成30年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○八幡平農業労働力確保戦略協議会</li> <li>・事務局会議開催(年3回)</li> <li>○労働力の確保・育成</li> <li>・調製作業パート・農家雇用40人の確保</li> <li>・確保したパートの農家派遣研修</li> <li>○労働力等のデータベース化及びマッチング</li> <li>・調製センター年間受け入れ計画作成</li> <li>・農家パートの募集・仲介</li> <li>・情報収集・成果発表等のための会議出席</li> </ul>

## 【事業実施体制】

《名称》八幡平農業労働力確保戦略協議会

《構成員》JA新しいわて野菜生産部会、八幡平市、  
JA新しいわて、盛岡広域振興局農政部、  
八幡平農業改良普及センター

《代表者》JA新しいわて八幡平営農経済センター センター長

◎労働力の確保・活用などの協議

◎調製作業の効率化、労働負荷軽減などの協議

## 【特徴的な取組】

八幡平市は夏秋野菜が主の産地であり、特にほうれん草については、天皇杯を受賞するなど「西根ほうれんそう」のブランド産地として繁栄していたが、生産者の高齢化や価格低迷により生産量、販売額ともに年々減少してきている。

近年、若手生産者を中心に規模拡大を図ろうとしているが、労働力不足が課題となっている。また、ほうれん草の選別調製作業を担う「ほうれんそう調製センター」はあるが、生産者の作業の外部委託の概念が定着しておらず、取扱量が不安定である。

農家パートの確保に加え、ほうれんそう調整センターの利用促進を図り、機能強化(労働力の確保、活用)することにより収益向上を目指す。